

平成 28 年度 睦会報告

41 回目の今年度は平成 28 年 10 月 19 日（水）、神戸元町の風月堂ホールで開催され、46 名が集いました。

今年の睦会のコンセプトは「糸」と「言葉」です。

共通の赤い糸が一本入った私たちの織りなす人生の布、60 歳を過ぎて一段と味が出て参りました。そして織り上げる中でたくさんの言葉との出会いが布に彩りを作っていることを年ふるほどに実感しています。年々、言葉への愛おしさが増していることに気づかされます。

収録語数延べ 324,000 語という上代から現代までの言葉を時代別に集めた画期的な類語辞典『現代語古語類語辞典』を編纂された元西脇高等学校校長芹生公男先生による講演「言の葉の森に分け入って二十年ー日本語の豊かさに魅せられてー」を拝聴してますますその感を強くし偉業に深く感じ入りました。

講演後、S24 卒の並川明子様乾杯の音頭を取っていただいてランチ、歓談を楽しみ、質疑応答等のあと、中島みゆきの「糸」を皆さんで歌い、校歌を斉唱後、閉会の挨拶を S32 卒の林茂代様からいただきました。平成 29 年度は S49 年卒の皆さんのご担当です。



睦会が終わって 10 日後の 10 月 29 日、ラジオ関西で毎週土曜日午前 7 時からやっている「ひょうごラジオカレッジ」で芹生先生がこの辞典についてお話しをされました。会でも予告をされていたので聴かれた方がおられたことと思います。あらためて大きなお仕事をされたのだと再認識し、そのことについて直接にお話を聴けたことの幸せを感じました。

総会や睦会で皆さんと歌う貞明皇后御下賜の校歌ですが、先日今年度の佐保会代議員定時総会のあとの同窓会佐保会の懇親会の席で今岡学長がされた挨拶の中で、お茶の水女子大主催のあるセレモニーで美智子妃殿下と同席され、その際に貞明皇后お手植えのカリンの木は今でも実をつけますかと尋ねられたという話をされました。それを聴いてあついものがこみあげた私、睦会では今までになく熱唱。。（橋本陽江 記）